



大手の4銀行グループが「看板」を並べる、ここはどこ？



ひょっとして東京の珍風景の一つ？ 日頃、競合関係にある三菱UFJ銀行、三井住友銀行、みずほ銀行、りそな銀行の看板が通り沿いに仲良く並んでいる。その様子は金融関連のニュースを伝える際、新聞、テレビなどでしばしば取り上げられるので、おなじみかもしれないが、実は意外な場所にある。

東京のウォーターフロント・豊洲

ここは東京のウォーターフロント。東京メトロ有楽町線・豊洲駅（江東区）を降りると、駅直結の豊洲センタービルがある。ビルにはNTTデータが本社を置く。近くには、楽しみながら仕事体験ができる「キッザニア東京」や、総合重工業メーカーIHIの本社がある。

例の4行の看板は豊洲センタービルが建つ豊洲交差点の一角、晴海通りに面して立っている。

同ビル1階に、みずほ銀行は「豊洲支店」、りそな銀行は「セブンデイズプラザとよす」を置くが、いずれも資産運用や住宅ローンなどに関する相談業務に特化し、一般の窓口業務を行っていない。三菱UFJ銀行、三井住友銀行は地下1階にATM（現金預け払い機）コーナーを置く。有人、無人店舗の違いがあるが、大手同士が4行も呉越同舟する形なのだ。

豊洲交差点から望んだ風景（東京都江東区） 大手銀行は5大グループに再編

1990年代まで20行を超えた大手銀行は都市銀行、長期信用銀行、信託銀行の再編を経て現在5グループに集約されている。三菱UFJ銀行、三井住友銀行、みずほ銀行の3メガバンクと、りそな銀行、信託専門の三井住友信託銀行がそれだ。

東京商工リサーチが8月初めに発表した「メインバンク調査」（傘下行を含む）によると、大手銀行の順位が入れ替わった。

1位の三菱UFJフィナンシャル・グループ（12万6284社）、2位の三井住友フィナンシャルグループ（9万8807社）は不動だったが、前年調査で4位だったりそなホールディングス（8万1351社。りそな銀行は3万8698社）がみずほフィナンシャルグループ（8万762社、みずほ銀行は8万620社）を3年ぶりに逆転して3位となった。

文：M&A Online編集部